

第4期計画策定の方向性について

- 国、兵庫県いずれも基本理念や目標、施策の基本的方向性等については、全体を通じて、基本的に第3期計画を継承するとともに、成果と課題を踏まえたうえで整理され、第4期計画から5年かけて達成するよう、位置づけられている。
- 国、兵庫県いずれも、めざすべき姿の実現は未だ途上にあるとして、これまでの取組を一層強化したり、子どもたちを取り巻く社会情勢・教育環境の変化を鑑み、力点の置き所や位置づけを変更したりする形で、第4期計画の方向性を設定している。
- 国、兵庫県の第4期計画に掲げられている施策の大半は、現行の「かこがわ教育ビジョン」においても施策として掲げている。
- 現行の「かこがわ教育ビジョン」における施策のうち、今後も継続して取り組む必要があるものが複数ある。

これらの状況を勘案し、

- ◆ 基本的な枠組みや骨格となる「基本理念」「具体的な人間像」「基本的方向」は、第3期計画の内容を継承する。（必要に応じ、並びや表現の修正などを検討。）
- ◆ 基本的方向に沿った「重点目標」やその「具体的な方針」は、加古川市の教育を取り巻く環境の変化、国県の第4期計画、市の第3期計画の総括などを踏まえつつ、整理・見直しを図る。